

人工股関節置換術症例における腸恥滑液包炎の発生頻度に関する研究

1. 研究の対象

2010年5月から2019年5月までに、当院および関連病院(高知県立幡多けんみん病院)の2施設にて人工股関節全置換術を行った症例の内、術前CTを撮像しえた症例

2. 研究目的・方法

腸恥滑液包炎は変形性股関節症や関節リウマチなど、股関節疾患に合併する比較的稀な疾患で、炎症による腫大を生じると兎径部痛や下肢の血流障害、大腿神経障害の原因となることがあります。これまでに症例報告は散見されますが、本邦では発生頻度に関する報告はありません。本研究の目的は、人工股関節全置換術を行った症例を対象に腸恥滑液包炎の頻度とその関連性について調査し、臨床上注意を要するような症例の特徴について検討することです。

研究期間：倫理委員会承認日（2020年2月28日）～2020年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

人工股関節全置換術の術前に撮像したCTデータ

4. 外部への試料・情報の提供

CTデータから抽出した画像所見をエクセルに個人が特定できないデータとして保存

5. 研究組織

研究を実施する共同研究機関 なし

「既存試料・情報の提供のみを行う機関」

高知県立幡多けんみん病院 田所伸朗

6. お問い合わせ先

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：088-880-2386

高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部附属病院 整形外科学教室 團 隼兵

研究責任者：高知大学医学部附属病院 整形外科学教室 池内 昌彦

研究代表者：高知大学医学部附属病院 整形外科学教室 團 隼兵

-----以上